



平成28年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 ウェルネット株式会社
コード番号 2428 URL <http://www.well-net.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮澤 一洋

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 猪飼 俊哉

TEL 03-3580-0199

四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第1四半期の業績(平成27年7月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第1四半期	2,446	19.5	535	20.7	539	20.3	360	25.5
27年6月期第1四半期	2,046	12.9	443	7.2	448	7.0	287	9.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第1四半期	37.78	37.48
27年6月期第1四半期	29.57	29.45

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
28年6月期第1四半期	25,166		8,106		32.1		844.09	
27年6月期	19,667		8,218		41.6		856.21	

(参考)自己資本 28年6月期第1四半期 8,066百万円 27年6月期 8,178百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年6月期	—	0.00	—	50.00	50.00
28年6月期	—	—	—	—	—
28年6月期(予想)	—	0.00	—	66.00	66.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年6月期の業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,600	8.3	950	4.0	930	1.5	610	3.8	64.19
通期	9,600	8.0	2,000	22.1	1,920	26.3	1,260	34.3	133.30

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年6月期1Q	9,700,000 株	27年6月期	9,800,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年6月期1Q	143,199 株	27年6月期	247,654 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年6月期1Q	9,552,524 株	27年6月期1Q	9,697,449 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績は、業況の変化により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績に支えられ景気は緩やかな回復基調にあるものの、消費市場はインバウンド効果等一部を除き、全体的には個人消費は未だ力強さに欠ける状況が続いています。一方、当社の事業が立脚する物販・サービス等のEC市場においては、スマートフォンの普及等の影響もあり、BtoC市場は持続的な成長を続けているほか、CtoC市場も拡大が見られております。

このような情勢のもと、当社は平成25年8月に公表した「中期経営3か年計画(2013年7月―2016年6月)」の最終年度に当たり、当初から目標に掲げている営業利益20億円及びROE15%を達成するべく、諸施策を推進・実行しております。

中期経営3か年計画の中核をなすのは次世代を担うビジネススキーム確立とカイゼン(機能拡充・システム安定運用・コストパフォーマンス向上)の両輪であります。ビジネススキームの確立に関しては、バスの革新的直売モデル、バスIT化ソリューション「バスもり!ナビ」(コンシューマ向けバス検索サービスアプリ)、「バスもり!MONTA」(バス会社向けリアルタイム在庫管理用車載端末アプリ)を昨年稼働させ、本年、拡大を進めてきております。コンシューマ向けアプリケーション開発は、今後のウェルネットには欠かせないものとして、研究開発を進めており、来年にリリースを予定しております。また、電力販売の自由化の具体的な動きが顕在化しているなか、請求書のペーパーレス化とあいまって電子決済化の流れはますます加速するものと見込んでおります。これらペーパーレス化マーケット拡大に的確に対応できるソリューションを投入することで業績拡大に取り組んでまいります。

カイゼンについては、データセンター移転が本年7月に完了いたしました。今後は運用の自動化、標準化の推進、およびシステム開発内製化比率向上によるコストパフォーマンスおよび新規サービス投入スピードの向上を目指し、積極的に技術者を採用し、準備を進めております。また、安定運用持続のため、社内システム構成管理自動化及びシステム障害の予兆把握プロアクティブ対応を進捗させております。

当第1四半期累計期間において、夏場の天候が昨年より比較的安定であったこと及び国内旅行市場の増加傾向により、バス・航空など交通関係も順調に推移しており、また、BtoC市場は持続的な成長を続けているほか、CtoC市場も拡大が見られており、既存契約事業者との取扱が増加したことに加え、新規事業者の開拓を積極的に進めてきました。一方で、PINオンライン販売サービスの取扱は減少傾向が継続しております。

以上の結果、当社の当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高2,446百万円(前年同期比19.5%増)、営業利益535百万円(前年同期比20.7%増)、経常利益539百万円(前年同期比20.3%増)、四半期純利益360百万円(前年同期比25.5%増)となりました。

なお、今期からは従来のサービス別に分類しての開示を「決済およびその付随サービス」に変更いたします。その理由は以下の通りです。

- ①当社のビジネスは決済をコアとしその周辺サービスの拡充を図っておりますが、対価を「決済手数料」として得るケースが殆どであり、「決済」と「周辺」の区分けが難しく、場合によってはその解釈によって変わり得る性格のものもあり、サービス別の公表がふさわしくないこと。
- ②大口認証サービス終了後、純然たる電子認証サービスの金額も相当低減しており、また必ず決済が絡んでいるため、事実上決済手数料として対価を得ていること。
- ③オンラインビジネスサービスはもともとコンビニエンスストアとの間の決済インフラを活用しており、資産の区分けも困難であり、「決済周辺サービス」と位置付けられること。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期累計期間末における総資産は25,166百万円となりました。流動資産は23,551百万円であり主な内訳は現金及び預金16,461百万円、有価証券4,999百万円であります。現金及び預金には、回収代行業務に係る収納代行預り金が14,215百万円含まれておりますが、これは翌月の所定期日には事業者に送金されるものであり一時的に当社が保管するものであります。当第1四半期累計期間末においては、9月シルバーウィークにより、20日締め事業者の精算が翌月になったため増加しております。固定資産は1,614百万円であり、内訳は有形固定資産420百万円、無形固定資産435百万円、投資その他の資産758百万円であります。

一方、負債合計は17,060百万円となりました。主な内訳は収納代行預り金14,215百万円、営業未払金1,293百万円であります。

純資産合計は8,106百万円となりました。主な内訳は株主資本8,066百万円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の業績は、概ね当社の予想範囲内にて推移しており、平成28年6月期通期業績予想につきまして、変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,293,918	16,461,607
売掛金	464,908	600,531
営業未収入金	725,439	657,568
有価証券	2,999,733	4,999,940
商品	2,741	2,800
仕掛品	5,509	9,318
貯蔵品	1,816	1,758
その他	496,836	818,409
流動資産合計	17,990,905	23,551,935
固定資産		
有形固定資産	437,979	420,928
無形固定資産	433,431	435,366
投資その他の資産	805,070	758,260
固定資産合計	1,676,481	1,614,555
資産合計	19,667,387	25,166,490
負債の部		
流動負債		
買掛金	434,101	457,201
営業未払金	1,356,850	1,293,831
収納代行預り金	8,732,688	14,215,286
未払法人税等	351,350	179,431
賞与引当金	—	21,394
その他	410,007	722,983
流動負債合計	11,285,000	16,890,129
固定負債		
株式給付引当金	25,314	26,558
資産除去債務	6,745	6,770
長期未払金	119,007	119,007
その他	13,055	17,835
固定負債合計	164,123	170,172
負債合計	11,449,123	17,060,301

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	667,782	667,782
資本剰余金	3,509,216	3,509,216
利益剰余金	4,651,664	4,303,187
自己株式	△650,078	△413,587
株主資本合計	8,178,584	8,066,598
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	202	186
評価・換算差額等合計	202	186
新株予約権	39,475	39,404
純資産合計	8,218,263	8,106,189
負債純資産合計	19,667,387	25,166,490

(2) 四半期損益計算書

(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
売上高	2,046,911	2,446,028
売上原価	1,396,668	1,703,983
売上総利益	650,243	742,045
販売費及び一般管理費	206,978	206,956
営業利益	443,264	535,089
営業外収益		
受取利息	3,794	3,465
受取配当金	—	36
その他	1,400	655
営業外収益合計	5,194	4,157
営業外費用		
支払利息	46	11
営業外費用合計	46	11
経常利益	448,412	539,235
税引前四半期純利益	448,412	539,235
法人税、住民税及び事業税	149,665	174,159
法人税等調整額	11,053	4,152
法人税等合計	160,718	178,311
四半期純利益	287,694	360,923

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。